

## 人の動き

(5月1日現在)

## 世帯数

10,897世帯(+29)

## 総人口

32,174人(+24)

男 15,840人(+22)

女 16,334人(+2)

転入 177人(-118)

転出 149人(-125)

出生 21人(-6)

死亡 25人(-1)

※カッコは前月対比



R100

PRINTED WITH SOY INK

坂本繁一郎（さかもと はんじろう、1882～1969）福岡県出身。明治35年青木繁とともに上京、不同舎に学び、さらには丸野豊、青木と妙義から信州への写生旅行に行く。「この時、丸山玲霞、島崎藤村を訪問。第6回文展の出品作「うすすれ日」に対して夏目漱石から高い評価を受ける。大正3年（科会創立に加わり、個性的な画風を開拓する。昭和31年に文化勲章が贈られる。昭和44年自宅にて死



梅野記念絵画館の収蔵品に坂本繁二郎の「御宿海岸」があります。

坂本は人のあまり描かない難しい構図、すなわち交差した構図をとることが特徴です。また、坂本ブルーと呼ばれる海や衣地のほうろう質の色感は、まさしく坂本好みの魅力を示しています。坂本初期の珍しい佳品であると思っています。

この「御宿海岸」は、6月26日からの「新発見！梅野コレクション展」に展示後、9月から10月まで神奈川県立近代美術館葉山館開館周年記念展に青木繁の「妙義山戯画（当館寄託品）」とともに展示されます。（文・梅野 隆 館長）

坂本繁一郎は、近代日本洋画家の大師であり、文化勲章の受章者でもあります。私の父満雄は、明治の天才画家、青木繁や坂本繁一郎と同郷人で、青春時代を東京で過ごした仲間でした。青木は29歳で没しましたが、坂本は、大正10年（1921）に渡米し、大正13年に帰国します。帰国後、久留米に帰り梅野が提供した自宅傍の畠地1反余にアトリエを建て、八女に定住することになります。

坂本は土地のお札として、第15回「科展出品作「母仔馬」50号を私の父に贈っています。私はその頃6歳で以降20年間、朝夕坂本と挨拶を交わし、絵の手ほどきを受ける幸運に恵まれることになるのです。昭和60年（1985）の初夏のある日、神田の古道具店で、この絵に巡りあいました。傷みはひどかったのですが、「目で坂本の本物の絵だ」と思いすぐに買い取りました。この絵は大正元年（1912）夏、御宿海岸を旅行した時のものと考えられ、名作「うすすれ日」と同場所で描かれたものと思われます。また、モデルの一人は新婚早々の薫夫人であるかもしれないという興味もあります。

## 編集後記

▼星合孝史前教育長が退任式の挨拶で次のように話しました。「短い間でしたが、新市になつてから出席したイベントで、いつも私はこのような内容を挨拶に入れました。『東御市になつてもイベントの場所は同じ、まわりの景色も同じ』、参加者も同じかもしれない。でも、第一回東御市〇〇大会」と名前が変わつたんです。新市のスケートも開催されています。市民も市民の活動がスタートしていきました。『東御市になつてもイベントも開催されています。市も新市に向かって本格的に船出しました。』星合前教育長がおつしゃつたようにいきたいと思います。

市報とうみも住民と市を、そして市民と市民とを結びつけ、元気づけられる役割として一役を担つています。（市報担当 柳橋）

## おらほ簡単クッキング

血液サラサラ 健康サラダですよ！  
「トマトサラダ」  
(4人分)

- ①トマトは2センチ角に切り、玉ねぎ、ピーマンはみじん切り、パセリは粗いみじん切りにする

- ②ボウルにAの材料をよく混ぜ合わせ、①を加えて、塩・コショウで味を調えて冷やしてから器に盛る

・トマト	2コ	A (ドレッシング)	オリーブ油	大さじ2
・玉ねぎ	1/2コ		白ワインビネガ	大さじ3
・ピーマン	2コ		レモン汁	大さじ1
・パセリ	15 g		バルサミコ酢	小さじ1
			塩、コショウ	各適宜

提案者：寺島定子（てらしま ていこ）さん（乙女平）



絵は心の恋人探し 202

## 「御宿海岸」 坂本繁一郎 作